

令和 5 年度 磯子工業高等学校（定時制） 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
公務外非行の防止（法令遵守意識の向上）	公務外非行の防止徹底を図る。	公務員倫理意識の徹底などを推し進め、啓発資料を適宜配布して職員の法令遵守意識の向上を図った。特に、若手職員に対しては、管理職のみならず、学校全体で育成するという意識を職員に持たせ、基本的事項を繰り返し、徹底的に指導し、法令遵守意識の向上を図った。
セクハラ・わいせつ行為	セクハラ・わいせつ行為などを未然に防止する。	これらに関しては、全体に対して日頃から繰り返し指導を継続した。それによって教育公務員としての自覚とモラルの向上に鋭意努めた。また、啓発資料をもとに所属職員全員を対象にした職場研修会を複数回実施し、人権尊重の意識を高めた。携帯電話・電子メールの適切な使用については、あらためて周知を徹底した。
体罰・不適切指導	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	事例等の啓発資料を配付したり、所属職員を対象とした人権教育研修会を実施したりして、不適切な指導の未然の防止に努めた。またこのような事態が報道された際には他県の事例であっても取り上げ、注意喚起を促した。
適正な経理処理（備品の現物照合、公費・私費・現金管理）	会計の取扱い方法を検討、整理し、現金等の取扱いも含めた会計に係る事故を未然に防止する。また、備品の現物照合を徹底する。	私費会計基準をあらためて周知し、必要に応じて会計事務処理の改善・工夫を行った。事故の起きにくい方法を検討するとともに、所属職員を対象にした会計全般に係わる職場研修を不祥事故防止会議で行った。また、備品の現物照合については、複数名で点検を確実にを行い、台帳との現物照合を徹底した。また会計処理の正確・迅速・円滑な遂行についてあらためて確認した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	組織としての情報管理体制を構築し、個人情報の流出を未然に防止する。	個人情報の漏洩や流出が起きないように管理状況（パスワードの設定、誤廃棄防止）を適宜点検・確認を行った。携帯電話・電子メールの適切な使用について周知徹底した。また、職員啓発資料を活用し、所属職員全員を対象にした職場研修会を実施した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	酒酔い・酒気帯びを含む交通違反・交通事故の発生を未然に防止する。	今年度も職員啓発資料などを活用し、交通規範の順守について所属職員全員を対象にした職場研修を実施した。

業務執行体制の確認（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	情報共有、相互チェック体制、業務協力体制などを適切に推し進める。また、政治的中立性を厳守する。	業務執行体制を構築した。特に、成績処理、進路関係書類作成業務、入学者選抜業務における事故の防止を所属職員全員で確認し、徹底をはかった。また、地方公務員の服務規律の確保を徹底した。
---------------------------------	---	---

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

事故不祥事の根絶は、職員一人ひとりが当事者意識を持ち、自らが主体的に考え、行動することが大事である。この考えに基づき、令和5年度も教職員に対しては不祥事防止会議の他、始業時の打ち合わせ、業務の報告・連絡・相談の中で日頃から継続的に指導し、再認識させた。特に、今年度は教員の経験年数を問わず、基本的な事項を何度も粘り強く指導し、規範意識の醸成に努めた。

セクハラ・わいせつ行為については1年を通じて繰り返し注意喚起を促し、教職員としての自覚をもって行動・生活することの大切さを説き続けた。

日頃の通常業務、私費会計処理の事故防止については、不祥事ゼロプログラムに沿って、各担当者を中心に、適切に行うことができた。

また入学者選抜業務については県教育委員会主催の説明会で受けた情報を職員で共有し、協力体制を築くことで事故防止を含む安全かつ円滑な業務の遂行を行った。

これらのことを繰り返し行った結果、不祥事につながる事象は起きることがなかった。

令和6年度については、令和5年度の実績を一層充実させ、教職員のさらなる意識啓発に努めるとともに、本校から不祥事を絶対に出さないという強い意志を持ち、引き続き全職員一丸となって不祥事防止に全力で取り組む所存である。